



県内建設産業の現状



埼玉県 県土整備部 建設管理課



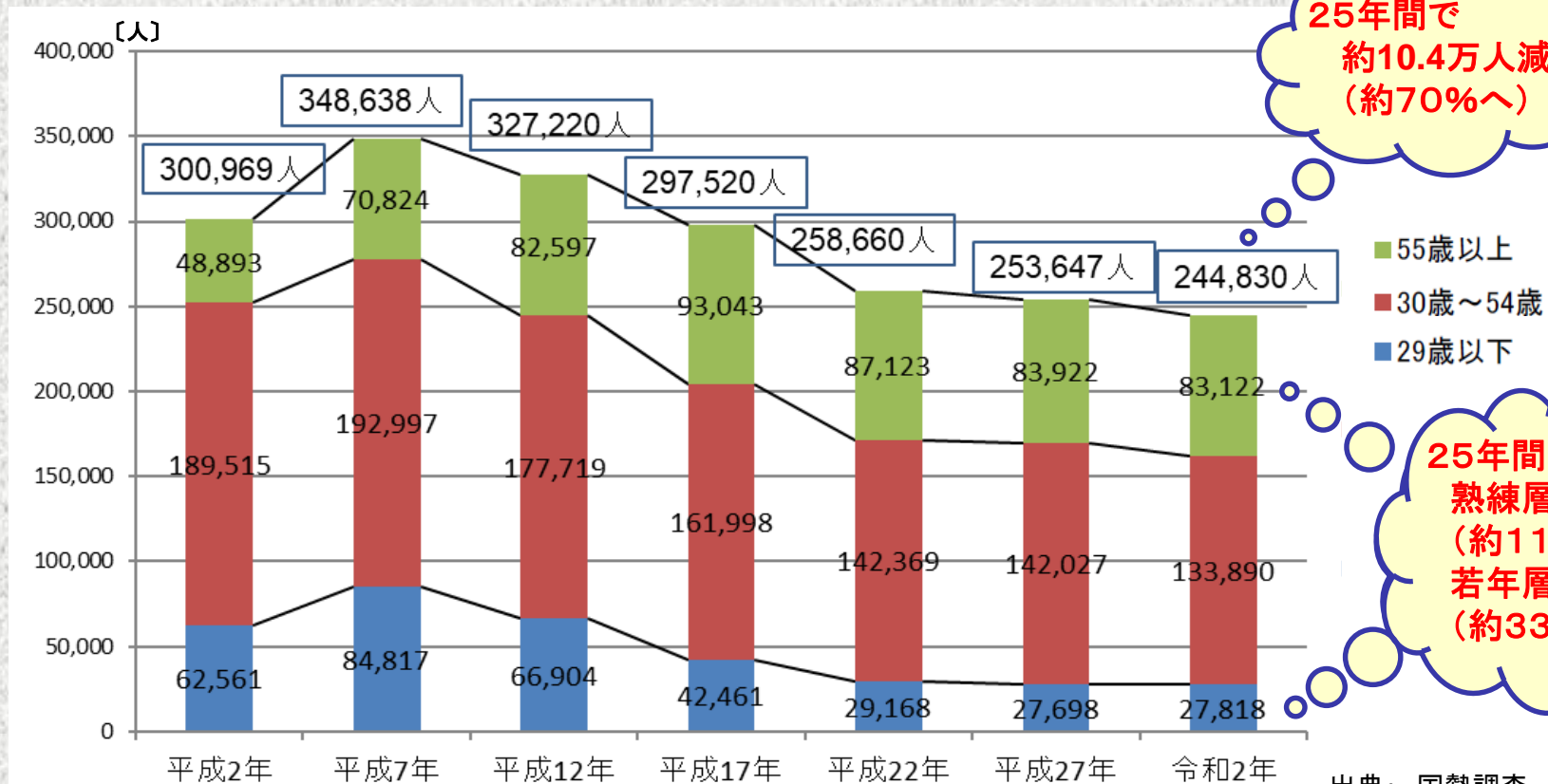
県内建設業の現状について

- (1) 担い手・・・従事者数、年齢階層別就業割合、
求人倍率、工業高校生徒数
- (2) 就業環境・・・労働時間、出勤日数、休日、
設計労務単価、労働生産性
- (3) 近年の動向・・・猛暑日、CSF、台風19号、新型コロナ、
オリ・パラ、原油高・物価高騰



1. 県内建設業の現状について (1)担い手

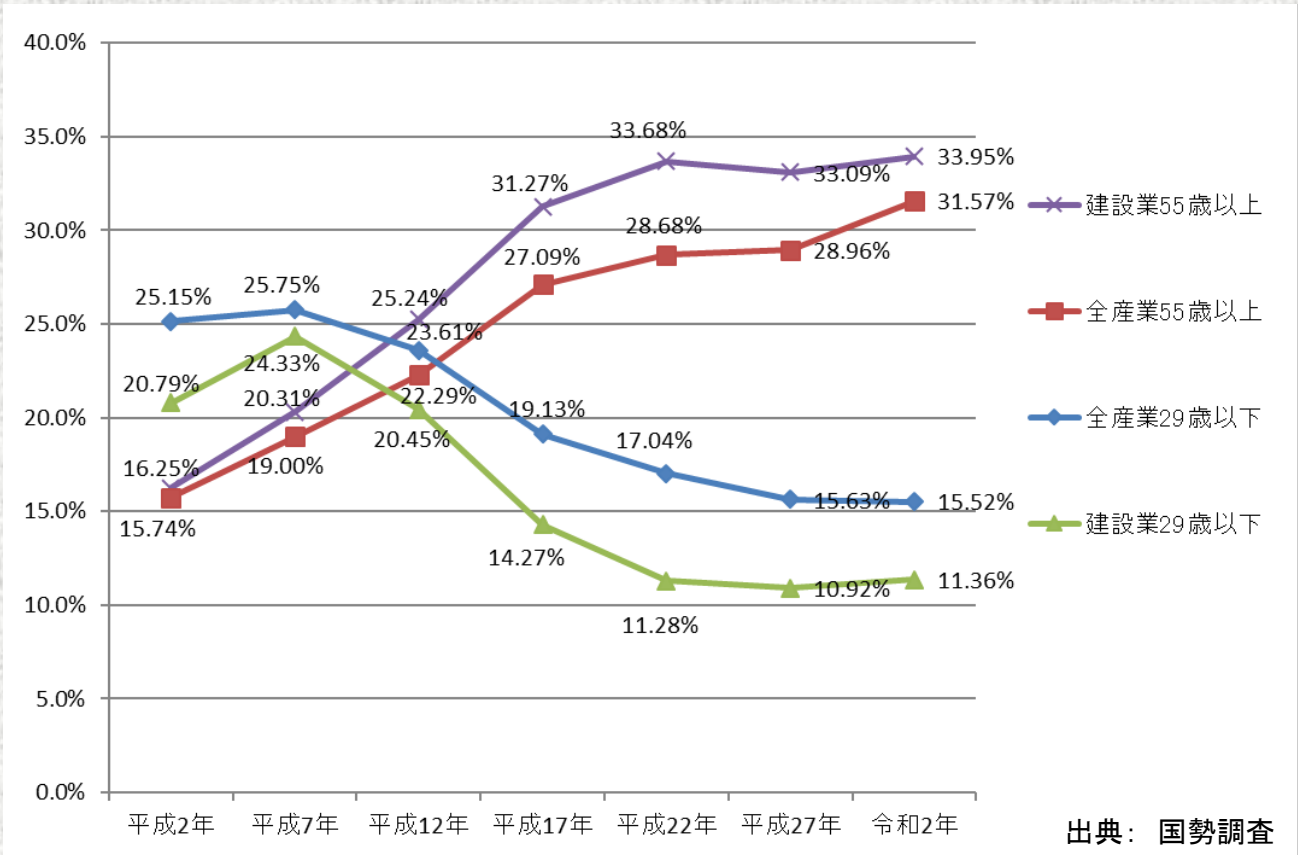
◆埼玉県内の建設業従事者数の推移





1. 県内建設業の現状について (1)担い手

◆埼玉県内の年齢階層別就業者の割合の推移(全産業・建設業)



全産業・建設業とも

- ・ 55歳以上が増加
- ・ 29歳以下が減少



建設業の乖離が大



建設業において

- ・ 担い手が不足
- ・ 技術の伝承が懸念



1. 県内建設業の現状について (1)担い手

◆埼玉県内の職業別有効求人倍率の推移

| 職業計 | R5.4 | R4.4 | R3.4 | H31.4 | H29.4 | H27.4 | H25.4 |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全体 | 0.92 ↑ | 0.88 | 0.80 | 1.12 | 1.02 | 0.68 | 0.51 |
| 管理的職業 | 0.94 ↑ | 0.88 | 0.87 | 1.12 | 0.96 | 0.69 | 0.56 |
| 専門的・技術的職業 | 1.27 ↑ | 1.21 | 1.11 | 1.17 | 1.53 | 1.10 | 0.92 |
| 建築・土木・測量技術者 | 3.72 ↑ | 3.13 | 2.82 | 3.18 | 4.16 | 2.55 | 2.18 |
| 事務的職業 | 0.27 ↑ | 0.25 | 0.19 | 0.35 | 0.33 | 0.24 | 0.16 |
| 販売の職業 | 1.13 ↑ | 0.99 | 0.91 | 1.82 | 1.40 | 0.82 | 0.57 |
| サービスの職業 | 2.39 ↑ | 2.16 | 1.92 | 3.09 | 2.76 | 1.72 | 1.12 |
| 介護サービスの職業 | 3.91 ↑ | 3.56 | 3.47 | 4.64 | 3.25 | 2.27 | 1.45 |
| 保安の職業 | 4.81 ↑ | 4.70 | 3.89 | 8.70 | 8.45 | 3.16 | 1.89 |
| 農林漁業の職業 | 0.69 ↓ | 0.97 | 0.66 | 1.07 | 1.07 | 0.82 | 0.65 |
| 生産工程の職業 | 1.57 ↑ | 1.48 | 1.10 | 1.88 | 1.61 | 0.84 | 0.52 |
| 輸送・機械運転の職業 | 1.54 ↑ | 1.36 | 1.32 | 2.21 | 1.97 | 1.28 | 1.09 |
| 建設・採掘の職業 | 5.36 ↑ | 4.62 | 4.61 | 6.41 | 4.71 | 3.39 | 2.90 |
| 建設躯体工事の職業 | 9.16 ↑ | 7.12 | 6.39 | 13.45 | 8.29 | 4.56 | 7.40 |
| 建設の職業 | 5.36 ↑ | 3.86 | 4.31 | 5.88 | 5.14 | 3.82 | 3.22 |
| 電気工事の職業 | 2.96 ↓ | 3.42 | 3.22 | 4.15 | 2.85 | 1.99 | 1.48 |
| 土木の職業 | 5.56 ↑ | 4.99 | 5.01 | 6.04 | 4.74 | 4.11 | 2.59 |
| 採掘の職業 | - | - | 13.00 | 3.00 | 4.00 | - | 2.00 |
| 運搬・清掃等の職業 | 0.55 ↑ | 0.50 | 0.47 | 0.89 | 0.87 | 0.52 | 0.37 |

技術者
技能者
ともに
高い水準



1. 県内建設業の現状について (1)担い手

◆埼玉県内工業高校(建設系)の募集人員の推移

| | 学校名 | 学科名 | H9年度 | H22年度 | H31年度 | R6年度 |
|---|-------|--------|------|-------|-------|------|
| 1 | いずみ | 環境建設 | 80 | 40 | 40 | 40 |
| 2 | 浦和工業 | 設備システム | 80 | 40 | 40 | 募集停止 |
| 3 | 大宮工業 | 建築 | 80 | 80 | 80 | 80 |
| 4 | 春日部工業 | 建築 | 80 | 80 | 80 | 80 |
| 5 | 川越工業 | 建築 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| 6 | 熊谷工業 | 建築 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| 7 | 〃 | 土木 | 40 | 40 | 40 | 40 |
| 8 | 玉川工業 | 建設技術 | 80 | 40 | 募集停止 | — |
| | 合計 | | 520 | 400 | 360 | 320 |
| | (増減) | | | ▲ 120 | ▲ 40 | ▲ 40 |

R8年度
統合予定

志願者倍率
(R6.2.16確定値)

くくり募集 1.07
(R5:1.27)

— (R5:0.43)

0.94 (R5:0.78)

1.09 (R5:0.85)

0.90 (R5:1.00)

0.90 (R5:0.80)

0.98 (R5:0.83)

27年間で
・ 200人が減少
・ 2学校が統廃合

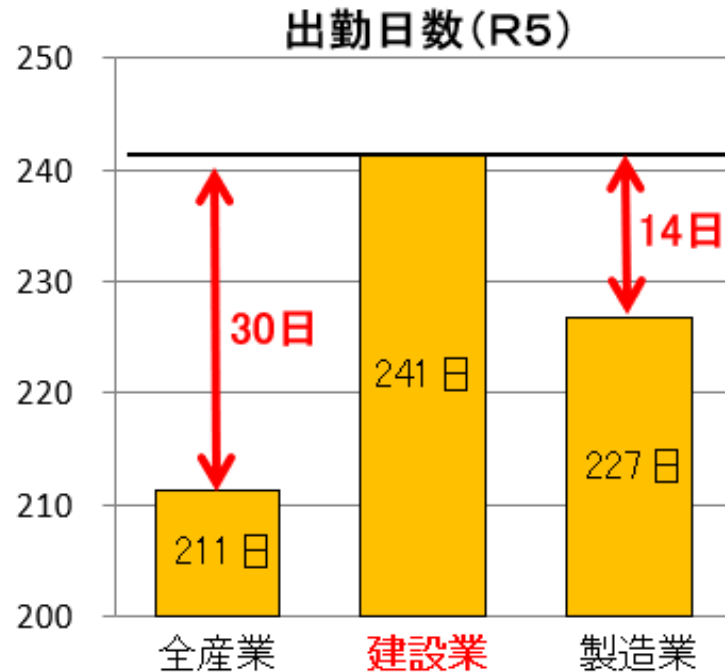
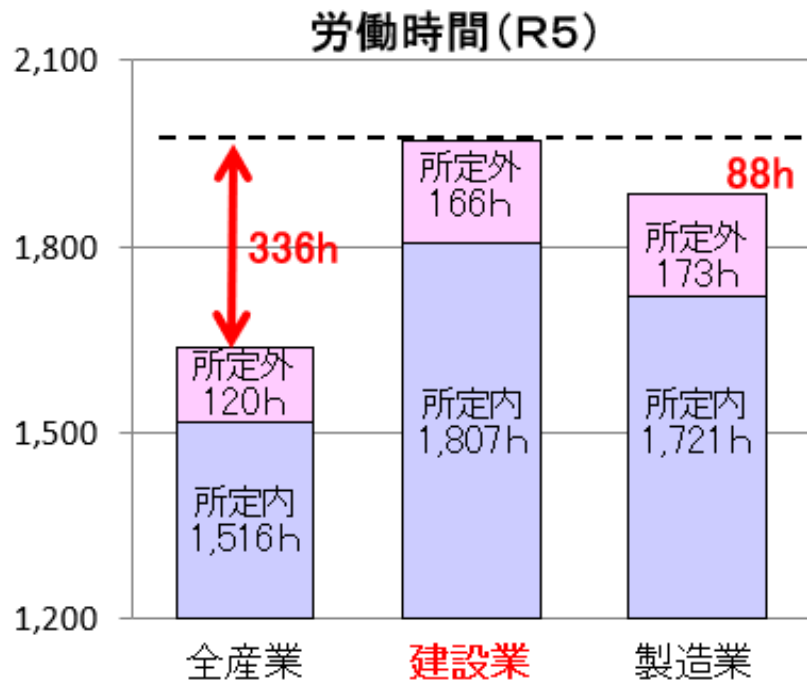


建設業において
・ 担い手不足が懸念
・ 技術の伝承が懸念



1. 県内建設業の現状について (2) 就業環境

◆ 産業別 令和5年度 年間労働時間及び年間出勤日数



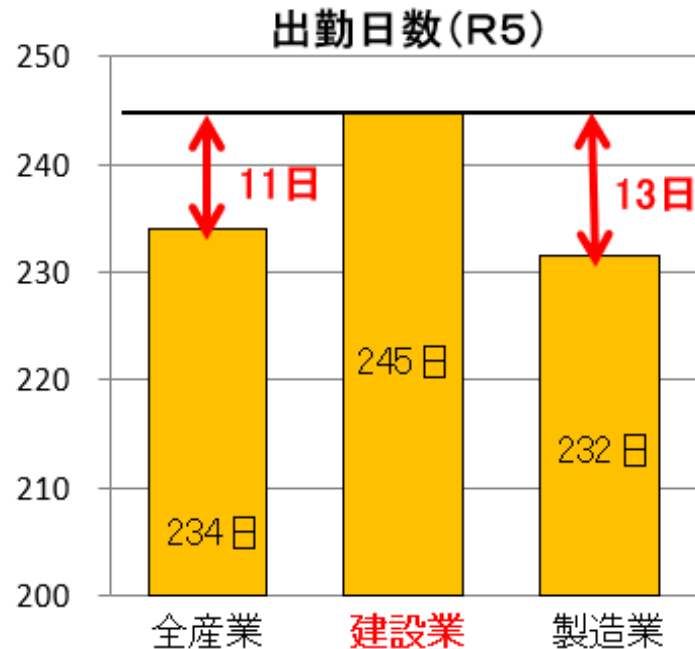
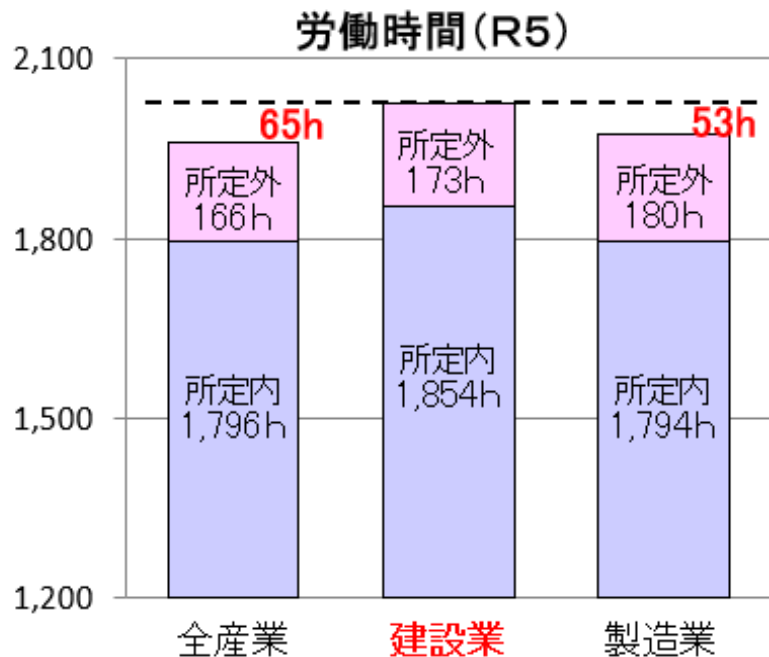
※所定内:就業規則で定められた勤務時間内の労働時間
※所定外:就業規則で定められた勤務時間を超えた労働時間

厚生労働省 毎月勤労統計調査(令和5年確報)



1. 県内建設業の現状について (2)就業環境

◆産業別 令和5年度 年間労働時間及び年間出勤日数



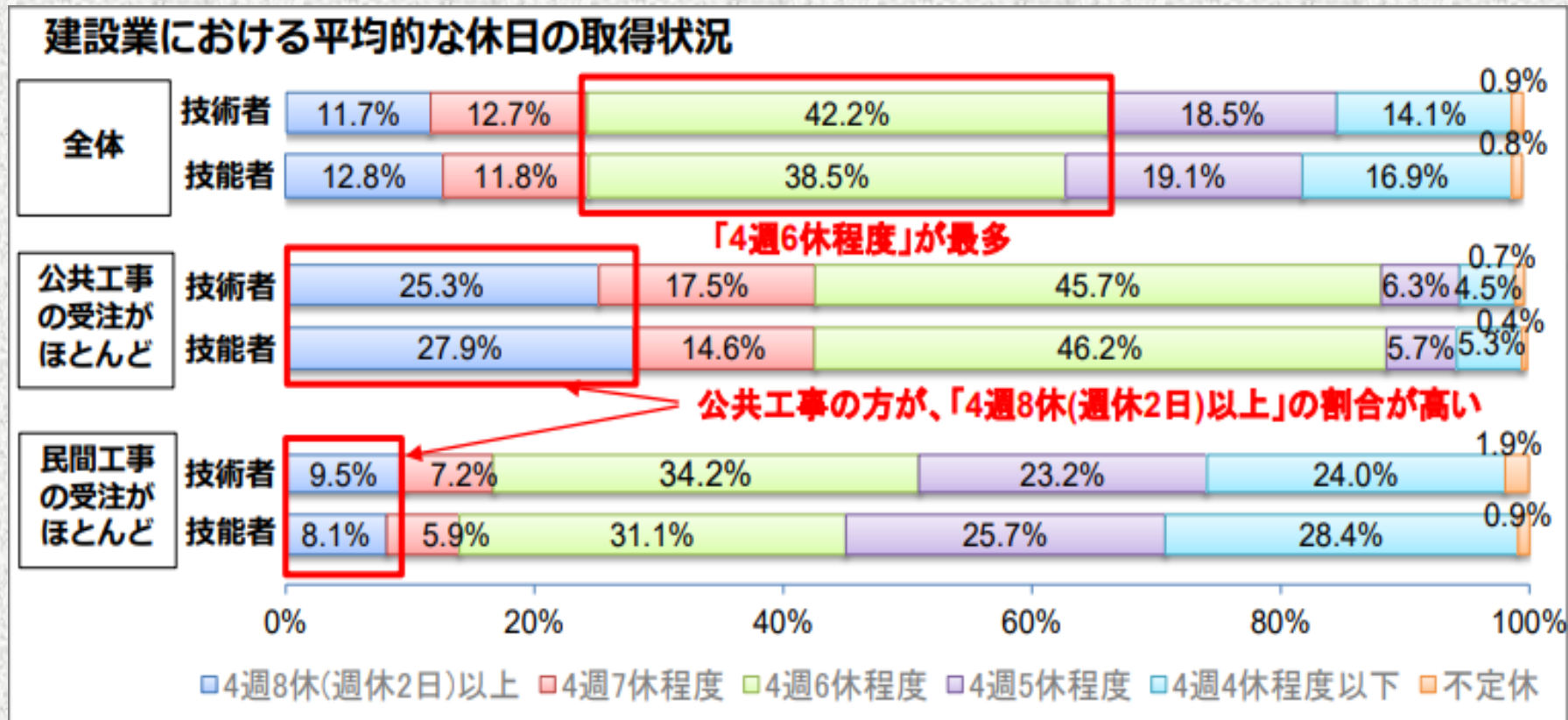
※所定内:就業規則で定められた勤務時間内の労働時間
※所定外:就業規則で定められた勤務時間を超えた労働時間

厚生労働省 毎月勤労統計調査(令和5年確報)
パートタイムを除く一般労働者



1. 県内建設業の現状について (2) 就業環境

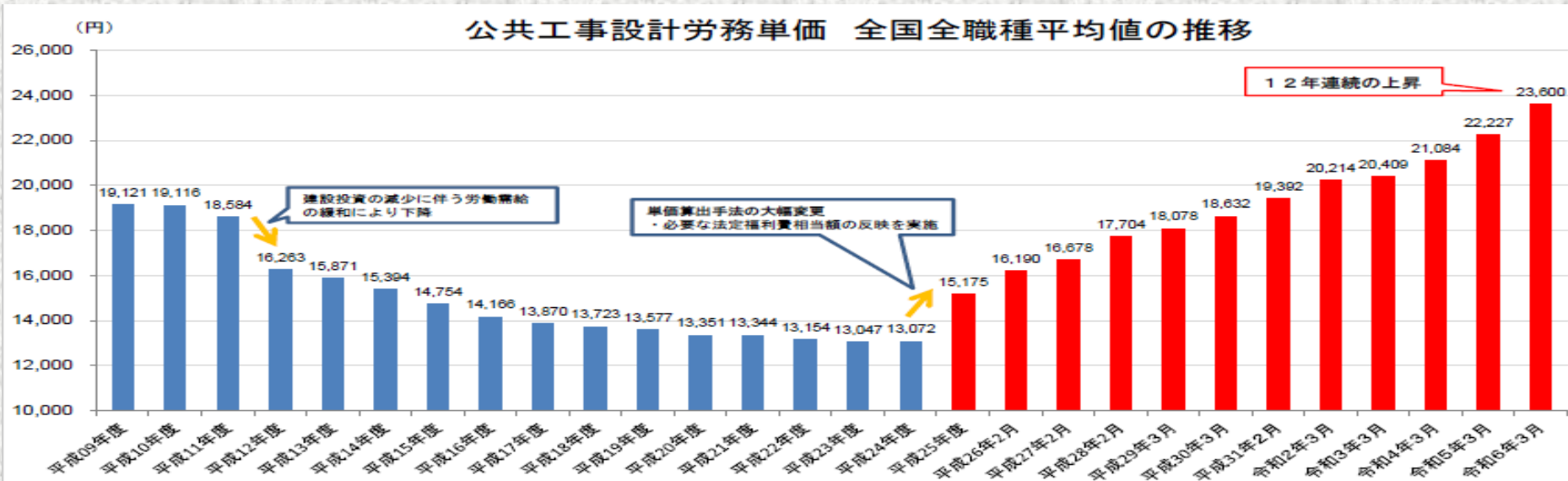
◆ 建設業における休日の状況(技術者)





1. 県内建設業の現状について (2) 就業環境

◆ 令和6年3月から適用する公共工事設計労務単価



参考：近年の公共工事設計労務単価の単純平均の伸び率の推移

| | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | R02 | R03 | R04 | R05 | R06 | H24比 |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 全職種 | +15.1% | +7.1% | +4.2% | +4.9% | +3.4% | +2.8% | +3.3% | +2.5% | +1.2% | +2.5% | +5.2% | +5.9% | +75.3% |
| 主要12職種 | +15.3% | +6.9% | +3.1% | +6.7% | +2.6% | +2.8% | +3.7% | +2.3% | +1.0% | +3.0% | +5.0% | +6.2% | +75.7% |

注1) 金額は加重平均値にて表示。平成31年までは平成25年度の標準数をもとにラスバイレス式で算出し、令和2年以降は令和2年度の標準数をもとにラスバイレス式で算出した。
 注2) 平成18年度以前は、交通誘導警備員がA・Bに分かれていないため、交通誘導警備員A・Bを足した人数で加重平均した。
 注3) 伸び率は単純平均値より算出した。

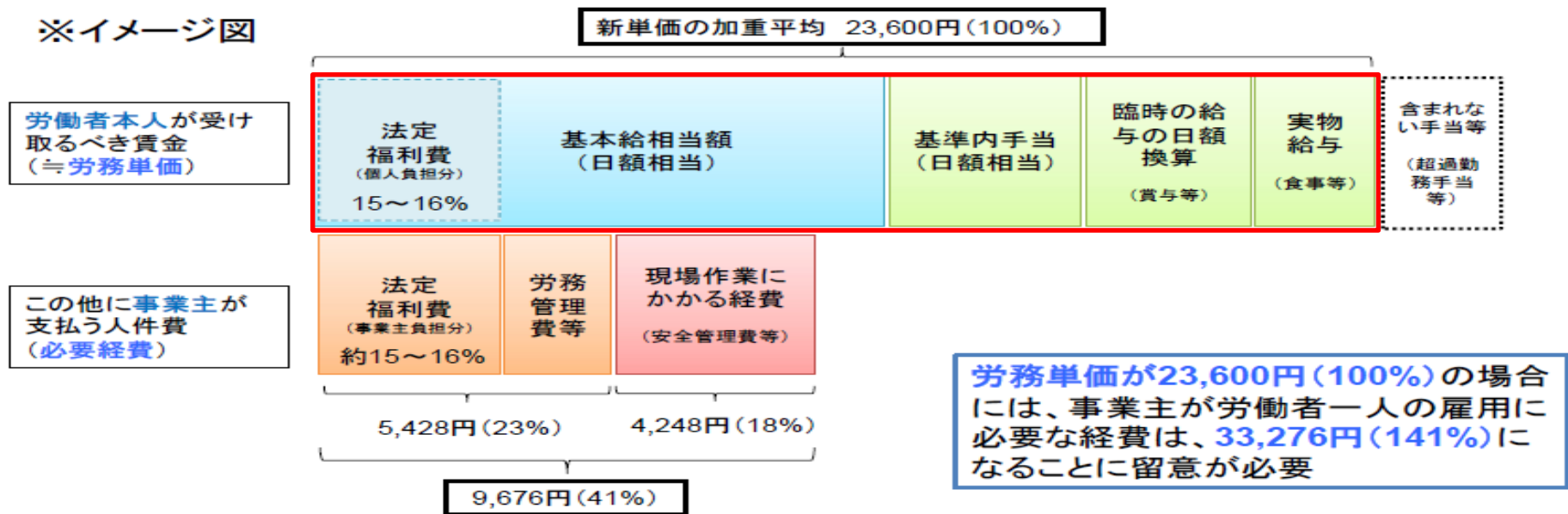


1. 県内建設業の現状について (2)就業環境

◆「公共工事設計労務単価」と「雇用に伴う必要経費」の関係

- 労働者本人が受け取るべき賃金を基に、日額換算値(所定内労働時間8時間)として労務単価を設定
⇒ 例えば、日給制の労働者が受け取る日当よりも広い概念。法定福利費も全額反映
- 労務単価には、事業主が負担すべき必要経費(法定福利費、安全管理費等)は含まれていない。
- 事業主が下請代金に必要経費分を計上しない、又は下請代金から必要経費を値引くことは不当行為

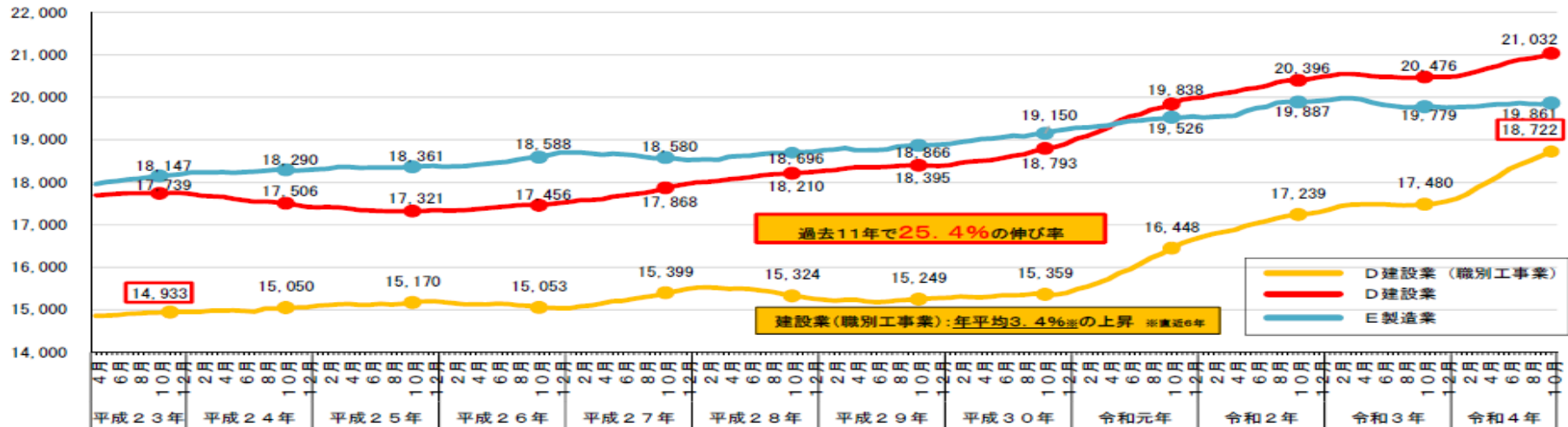
※イメージ図





1. 県内建設業の現状について (2) 就業環境

◆ 建設業の一日当たりの賃金の推移

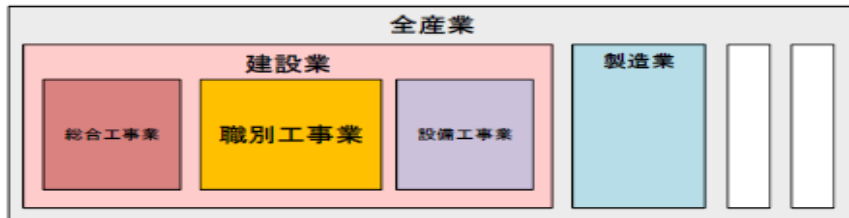


(出典) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」(D建設業-D07職別工事業、事業所規模5人以上)より国土交通省作成

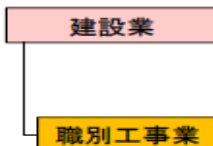
※「8時間あたりの賃金(ボーナス含み、超勤含まない)」の直近12ヵ月平均

(「8時間あたりの賃金(ボーナス含み、超勤含まない)」×8/「所定内給与」×8/「所定内労働時間」) → 直近12ヵ月の「随時給与(特別に支払われた給与)」/直近12ヵ月の「出勤日数」

(産業分類のイメージ)



(定義)



主として注文又は自己建設によって**建設工事を施工する事業所**が分類される
(ただし、主として自己建設で維持補修工事を施工する事業所及び建設工事の企画、調査、測量、設計、監督等を行う事業所は含まれない)

主として下請として工事現場において建築物又は土木施設などの工事目的物の一部を構成するための**建設工事を行う事業所**が分類される
(ただし、設備工事を行う事業所は設備業に分類される)



1. 県内建設業の現状について (2) 就業環境

◆ 産業別 労働生産性の推移



(2011 ⇒ 2021)

製造業 119%

全産業 107%

建設業 122%

大量生産
工場製造

単品受注生産
工事単価下落

(注) 労働生産性 = 実質粗付加価値額 (2015年価格) / (就業者数 × 年間総労働時間数)

資料出所: [内閣府「国民経済計算」\(トップページ\)](#)
[内閣府「国民経済計算」\(詳細ページ\)](#)
[内閣府「国民経済計算」\(詳細ページ\)](#)
[内閣府「国民経済計算」\(詳細ページ\)](#)
[総務省「労働力調査」\(詳細ページ\)](#)
[厚生労働省「賃金動向統計調査」\(詳細ページ\)](#)



1. 県内建設業の現状について (3)近年の動向

◆工事等に係る主な動向

| 年度 | 事項 | 現状及び対応 |
|-----|--------------------|--|
| H30 | 猛暑日 | ○ 全国で記録的な猛暑。気象庁は「命の危険がある暑さ。一つの災害と認識」。熊谷市で国内観測史上最高を更新(41.1℃) ● 「 工期の延長 」の対象。「 現場管理費の補正 」の試行。 |
| R1 | CSF(豚コレラ) | ○ CSFウイルスにより起こる豚、いのししの熱性伝染病。県内養豚場での疑似患畜が確認。 ● 「 防疫措置 」の実施。「 ワクチン接種 」の実施。 |
| R1 | 台風19号 | ○ 河川の越水、溢水、破堤などが発生。 ● 県は「 131箇所の災害査定 」を実施。「 災害復旧工事 」の発注。 |
| R2 | 新型コロナウイルス | ○ 新型コロナウイルスによる感染症が世界各地で発生。 ● 受注者の申し出により、工事等の「 一時中止 」や「 工期延長 」。 |
| R3 | オリンピック ・パラリンピック | ○ 令和3年夏、東京2020オリ・パラ競技大会が開催。 ● 「 路上工事の抑制 」や「 車両数の抑制 」を予定。 |
| R4 | 原油価格・物価高騰 | ○ コロナ過における原油価格・物価高騰の影響。 ● 「 実勢価格を反映した発注 」や「 スライド条項の周知 」を実施。 |

⇒ 不測の事態等により、事業に様々な制約が発生し、対応が求められる状況